熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和3年7月14日掲載

2年1組 黒瀬 佑実

「ゴミゼロ運動で思ったこと」

苓北町の海岸で行ったゴミゼロ運動は、開始15分でゴミ袋がいっぱいになりました。初めは、小さなビニール袋や小さなゴミばかりが落ちていると思っていましたが、ペットボトルのゴミなど想像以上に大きなゴミが多く、すぐにゴミ袋が満杯になりました。そんなゴミを見て、一人一人が意識しない限り、ゴミは減っていかないのだなと改めて感じました。

ゴミ拾いが予定よりも早く終わったため、自由時間ができました。自由時間では、海岸でしかできないシーグラス集めを友だちとしました。改めて海の良さや美しさを感じることができました。この良さや美しさを守るために、ゴミを減らす意識を大切にしたいです。今回のゴミゼロ運動を終えて、「苓北町の海の美しさを守るため、ゴミを減らす努力を一人一人がしなければならない」ということを強く感じました。いくら今回のゴミゼロ運動のような取組を行っても、また捨てられたら同じことです。環境問題を解決していくためにも、私自身もこれから「ゴミゼロ」を意識して過ごしたいです。